

# 記入例

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

提出日

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 年〇〇月〇〇日

水戸市長 〇〇 〇〇 様

押印不要

提出者

法人の代表者もしくは処理計画書の作成単位である支店等の代表者でも可  
です。(環境省マニュアルP11参照)

住所 ■■■県〇〇市▼▼▼-××

氏名 △△△△株式会社

代表取締役 茨城 太郎

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 〇〇〇-××××-〇〇〇〇

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称 △△△△新築工事

事業場の所在地 水戸市〇〇〇1丁目地内 他

事業の種類 総合工事業

産業廃棄物処理計画における  
計画期間 令和 年4月1日から令和 年3月31日まで

前年度に提出した産業廃棄物処理計画  
に記載した目標値を記入してください。

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	t	全処理委託量	t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への 処理委託量	t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	再生利用業者への 処理委託量	t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への 処理委託量	t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への 処理委託量	t

※事務処理欄

産業廃棄物の種類ごとに1枚ずつ作成してください。

(産業廃棄物の種類： **がれき類**)

計画の実施状況

有償物量

不要物等発生量

当該事業場から発生した産業廃棄物のうち、中間処理をせず直接自社の最終処分場に埋立処分又は海洋投入処分した量。

当該事業場から発生した産業廃棄物のうち、中間処理をせず直接自社で再生利用した量。

自社で中間処理した残さ量のうち、自ら利用し、又は他人に再利用目的で売却した量。

産業廃棄物処理業者に中間処理及び最終処分を委託した量のうち、処理業者に再生利用を委託した量。

業廃棄物処理業者に中間処理及び最終処分を委託した量のうち、平成23年度から認定が開始された熱回収認定業者へ委託した量。

当該事業場から発生した産業廃棄物の量。

当該事業場から発生した産業廃棄物のうち、自社で中間処理をした産業廃棄物の総量。

排出量

① 1000

自ら直接再生利用した量  
② 0

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量  
③ 0

自社で中間処理をした後の残さ量のうち、自社の最終処分場に埋立処分又は海洋投入処分した量。

自ら中間処理した後再生利用した量  
⑧ 0

自社で中間処理した場合の処理後の残さ量。

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量  
⑨ 0

項目	実績値
①排出量	1000
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	1000
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用者への処理委託量	900
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

自ら中間処理した量  
④ 0

自ら中間処理した後の残さ量  
⑥ 0

④のうち熱回収を行った量  
⑤ 0

自ら中間処理により減量した量  
⑦ 0

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量  
⑩ 1000

自社で中間処理した産業廃棄物の量のうち、自社で熱回収を行った産業廃棄物の中間処理前の量。

自社で行った中間処理により減量した量。(=④-⑥)

産業廃棄物処理業者に中間処理及び最終処分を委託した量。

産業廃棄物処理業者に中間処理及び最終処分を委託した量のうち、平成23年度から認定制度が開始された優良認定処理業者へ委託した量。

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量  
⑪ 0

⑩のうち再生利用者への処理委託量  
⑫ 900

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量  
⑬ 0

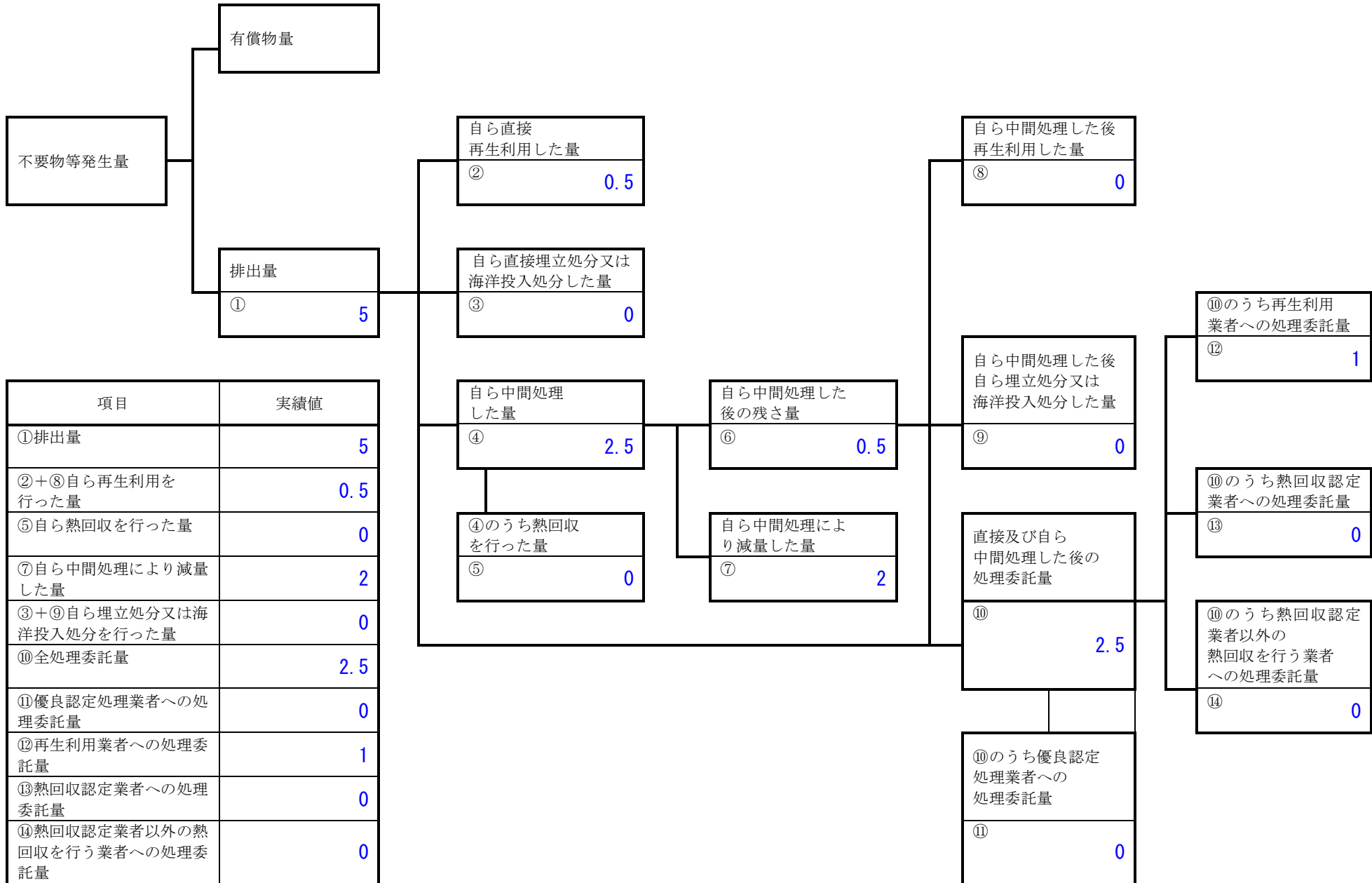
⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量  
⑭ 0

産業廃棄物処理業者に中間処理及び最終処分を委託した量のうち、認定熱回収施設設置者以外で、熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量。

産業廃棄物の種類ごとに1枚ずつ作成してください。

(産業廃棄物の種類： 木くず ←

計画の実施状況



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。